



## ～ 市民と医療をつなぐ「見える医療」へ ～ ディスカッション用顕微鏡のご紹介

### 要 旨

沼津市立病院広報誌「ぬまピタル」号外（医療機器編 vol.9）を発行しました。「病院バックヤードに潜入」をテーマに、普段はあまり目にする事のない医療機器などを紹介しています。

今回は、ディスカッション用顕微鏡（多人数観察型顕微鏡）をご紹介します。この顕微鏡は、最大5人が同時に検体を観察できます。当院では、臨床検査技師や研修者が日常的に使用し、症例検討や教育の質向上に寄与しています。

### 概 要

【ぬまピタル号外（医療機器編 vol.9）】

- 1 発行日 令和8年3月2日(月)
- 2 閲 覧 沼津市立病院 病院管理課から データ配信のみ  
([沼津市立病院ホームページ](#)、全国広報誌アプリ「マチイロ」、院内デジタルサイネージ)
- 3 特記事項
  - ・「ぬまピタル」号外は、月1回程度データ配信し、当院の医療機器など、さまざまな内容を紹介します。
  - ・医療現場を裏で支える医療機器などを紹介することで、市民のみなさまに親しみを持っていただきたいと思っております。

※取材時は、機器のデモ運用等も可能です。ご連絡をお待ちしております。

### お問い合わせ先

沼津市立病院 事務局 病院管理課  
直通：055-924-5100（代表）



沼津市立病院

NUMAZU CITY HOSPITAL

— 地域のために前進をつづける病院を目指して —  
**当院の医療現場で活躍する機器を紹介します**



5人の目が異常を逃さない

ようけんびきょう

## ディスカッション用顕微鏡

- 同時に最大5人で検体をチェック
- 「この細胞は異常か?」「異常細胞の出現はないか?」リアルタイムで同じ視野を共有しながら議論
- 経験の少ない技師への教育・指導にも活用